

科目分類	専門基礎科目 健康の理解と健康支援	開講時期	1年 後期
授業科目	形態機能学 I		
選択／必修	必修	単位数（時間数）	2単位 60時間
担当教員	徳永日呂伸		
メールアドレス	h-tokunaga@tsuruga-nu.ac.jp	オフィスアワー	在室時いつでも可 不在時は気軽にメール等で

授業目的	<p>身体の異常を知るには、まず正常を理解している必要があります。言い換えれば、正常がきちんと分かっているならば異常を理解することは容易です。</p> <p>医学における一番中心の柱ともいえる内容です。頑張ってください！</p>
授業概要	<p>正常な状態の人体の構造とその働きのしくみを全般的に学びます。</p> <p>現代に至るまでの医学の歩みを短時間で辿る、壮大で興味深い内容です。</p>
授業内容	<p>第1～2回 はじめに、人体の構造と機能、細胞分化と組織</p> <p>第3～7回 血液と体液</p> <p>第8～12回 筋・骨格系</p> <p>第13～18回 脳・神経系</p> <p>第19～20回 感覚器（眼・耳・鼻・舌）</p> <p>第21～28回 内分泌系</p> <p>第29～30回 代謝系、まとめ</p> <p>【予定は目安で、進行状況によって適宜変更します】</p>
教科書 参考書等	<p>教科書：系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学(第10版) 2018 坂井建雄、岡田隆夫、 医学書院</p>
成績評価 基準・方法	出席・期末テストの結果などから総合的に判断します。
履修要件	特になし
留意事項 その他	毎回新しいことを沢山学ぶことになるので、教科書での予習が大切です。
実務経験のある 教員の教育方法	<p>内容が現場の看護業務等から遠い印象を受けるかもしれませんが、正常がどのようになっているかをきちんと理解しているからこそ提供できるとても有益なアドバイスといったものが実臨床では沢山あります。正常の勉強という枠組みにこだわらず、そのまま臨床現場で役立つポイントなども伝授します。</p>